



ハロウィーン風景



古代ケルト人の収穫祭と悪霊払いが起源のハロウィーン。「トリック・オア・トリート」(お菓子をくれなきゃいたずらするぞ)と子ども達が口々に言いながら家々を回る習慣が19世紀アメリカで始まりました。

日本でも仮装した若者が街にあふれるようになり、年中行事になりつつあります。わが町2町内のハロウィーンの様子をご紹介します。



永楽町婦人部では、5年前から毎年ハロウィーンを楽しんでいます。婦人会終了後、可愛いカチューシャを付けてお茶会をします。カチューシャだけの仮装ですが、心が弾む楽しい時を過ごしています。

(婦人部・山田婦人部長)



高根町西子ども会初のハロウィーンウォークを行いました。参加者総勢22名でカボチャの手下げを手に町内を回ってお菓子をいただきました。道行く人や訪ねたお宅で仮装をほめられ喜ぶ姿が見られ楽しいイベントになりました。(子ども会・赤松会長)

広報誌「えん」— 広報委員

清水 都

寿東部地区社会福祉協議会の事業として、広報誌「えん」第一号は7年前に創刊されました。その礎を作ってくださったのは、前地区協会長の中村宣吉さんです。編集委員は初版から携わっている4名を含めて、現在9名です。わが町は高齢人口はもとより、外国籍の住民も多くなっています。地域社会のつながり(えん)の大切さを知ってもらい、人々が孤立しない様に、地域をつなぐ情報誌として、役立てて行きたいと思えます。



編集後記

寿東部地区では加入10ヶ町内会が協力して、社会福祉協議会をはじめとする16の委員会、協議会が活動しています。

各町内会行事がたて糸とすれば、委員会・協議会活動は横糸にあたります。町内会の枠組みを超

えて委員さんどうしの交流と団結は地域力を高めます。本号は多くの委員さん方の地域活動での活躍を紹介して、寿東部地区の団結と絆を高めることに寄与できるよう発信してまいります。

(浅野 正毅)

※歌丸桜の写真は、タウンニュース社の提供です。